

7月の天候

2014年（平成26年）7月の特徴：

北日本で気温がかなり高かった

北日本では晴れる日が多く、また、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、月を通して気温が平年を上回り、月平均気温がかなり高くなった。

北日本と東日本太平洋側で日照時間が多かった

北日本と東日本太平洋側では梅雨前線の影響は小さく、高気圧に覆われて晴れる日が多かったため、日照時間が多く、北日本太平洋側ではかなり多かった。

台風第8号と梅雨前線による大雨

台風第8号が7日から11日にかけて日本に接近、上陸した。沖縄本島地方では記録的な大雨となったほか、台風周辺の湿った南風と梅雨前線の影響で、北日本から西日本にかけても局地的に大雨となった所があった。

1 概況

上旬は、5日頃にかけて梅雨前線が本州の南海上に停滞し、6日以降は台風第8号が沖縄の南から北上して、8日に沖縄本島と宮古島の間を通過した。その後、台風は進路を東に変え、10日に鹿児島県に上陸して本州南岸を東進し、11日に関東の東で温帯低気圧に変わった。この影響で、沖縄本島地方では記録的な大雨となったほか、台風周辺の湿った南風と梅雨前線の影響で、北日本から西日本にかけても局地的に大雨となり、長野県で土石流による被害が発生するなど、各地で土砂災害や浸水害等が発生した。中旬には日本の南で太平洋高気圧の勢力が次第に強まり、梅雨前線は日本海沿岸まで北上した。このため、東・西日本太平洋側や沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多く、東・西日本日本海側では梅雨前線の影響で曇りや雨となる日が多かったが、19日から20日にかけては、上空の寒気の影響により、広い範囲で雷雨となり、局地的に大雨となった所があった。一方、北日本では、梅雨前線の影響は小さく、晴れた日が多かった。下旬には梅雨前線は北日本まで北上した。北日本では北海道を中心に大雨となった日があったが、東・西日本や沖縄・奄美では高気圧に覆われて晴れる日が多く、旬の中頃は猛暑日となった所が多かった。

月全体で見ると、北日本と東日本太平洋側では、梅雨前線の影響が小さく、高気圧に覆われて晴れる日が多かったため、月間日照時間が多く、北日本太平洋側ではかなり多かった。また、北日本では南からの暖かい空気が流れ込みやすく、月を通して気温が平年を上回ったため、月平均気温がかなり高くなった。

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

(1) 平均気温

北日本でかなり高く、東日本と沖縄・奄美で高かった。西日本は平年並だった。

(2) 降水量

沖縄・奄美で多かった。一方、東日本太平洋側では少なかった。北日本と東日本日本海側、西日本は平年並だった。

(3) 日照時間

北日本太平洋側でかなり多く、北日本日本海側と東日本太平洋側で多かった。東日本日本海側と西日本、沖縄・奄美は平年並だった。

地域平均平年差(比)と階級(2014年7月)

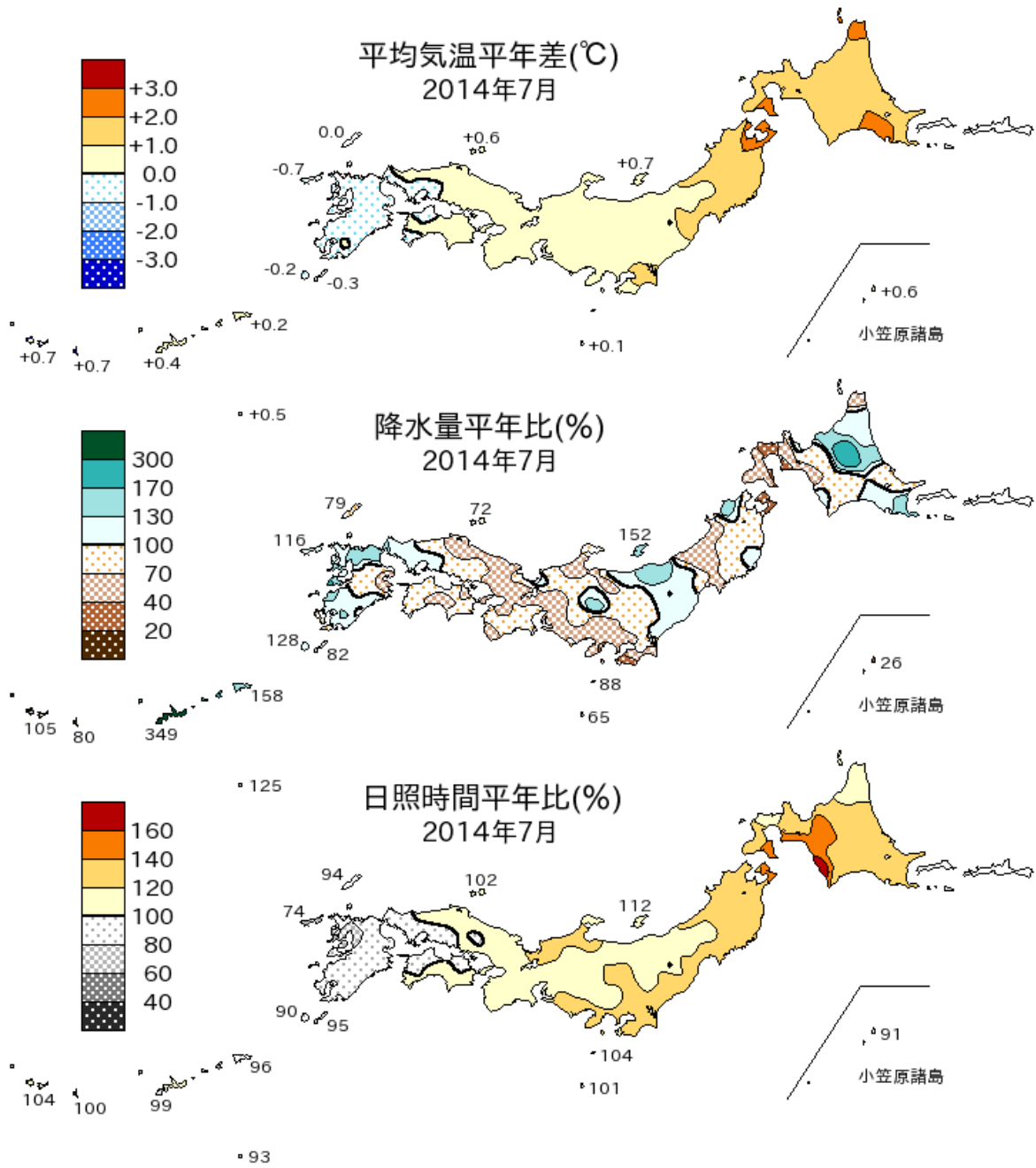
	気温 平年差 °C(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 °C(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		
北日本	1.6 (+)*	91 (○)	129 (+)*	北海道	1.8 (+)*	92 (○)	131 (+)*		
		日 93 (○)	日 124 (+)			日 127 (+)			
		太 90 (○)	太 133 (+)*			才 109 (○)	才 128 (+)		
				太 85 (○)		太 85 (○)	太 138 (+)*		
東日本	0.7 (+)	76 (-)	120 (+)	東北	1.3 (+)	89 (○)	126 (+)		
		日 101 (○)	日 121 (○)			日 91 (○)	日 121 (+)		
		太 70 (-)	太 120 (+)			太 88 (○)	太 130 (+)		
西日本	0.1 (○)	90 (○)	97 (○)	関東甲信	0.8 (+)	73 (-)	122 (+)		
		日 96 (○)	日 95 (○)			北陸	0.7 (+)	101 (○)	121 (○)
		太 86 (○)	太 99 (○)					東海	0.5 (+)
				近畿	0.5 (+)	60 (-)	110 (+)		
沖縄・奄美	0.5 (+)	155 (+)	102 (○)	日 59 (-)		日 59 (-)	日 118 (+)		
				太 86 (○)	太 60 (-)	太 60 (-)	太 108 (○)		
				中国	0.3 (○)	78 (○)	104 (○)		
				陰 62 (-)		陰 62 (-)	陰 110 (○)		
				陽 98 (○)		陽 98 (○)	陽 97 (○)		
				四国	0.1 (○)	81 (○)	99 (○)		
				九州北部	-0.3 (○)	115 (○)	85 (-)		
				九州南部 ・奄美	-0.2 (-) 本-0.2 (-)	122 (+)	92 (-)		
						本 107 (○)	本 91 (○)		
				奄 0.1 (○)	奄 190 (+)	奄 96 (-)			
				沖縄	0.7 (+)	141 (+)	105 (○)		

階級表示 -:低い(少ない) ○:平年並 +:高い(多い) 地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
*はかなり低い(少ない) かなり高い(多い)を表す 才:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は154地点である。このうち、降雪の深さ、最深積雪については、観測を行っている106地点が対象である。

・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981~2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

平年差（比）図（2014年7月）



3 旬別の天候経過

上 旬：5 日頃にかけて、梅雨前線は本州の南海上に停滞することが多かった。このため、北日本や東日本日本海側ではおおむね晴れた。また、沖縄・奄美でも太平洋高気圧に覆われ、晴れて気温も高くなった。一方、西日本や東日本太平洋側では曇りや雨となった日が多く、西日本では気温が低く経過した。また、3 日には梅雨前線がやや北上して活動が活発となり、長崎県で局地的に大雨となった。6 日以降は大型で非常に強い台風第 8 号が沖縄の南から北上し、8 日に沖縄本島と宮古島の間を通過した。その後、台風は次第に勢力を弱めながら進路を東に変え、10 日に鹿児島県阿久根市付近に上陸して本州南岸を東進した。沖縄・奄美では、台風第 8 号の影響で大荒れの天気となり、沖縄県名護市名護で 8 日から 9 日にかけての総降水量が 457.5mm となるなど、沖縄本島地方では記録的な大雨となった。また、台風の北上とともに梅雨前線が次第に北上し、前線に向かって台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだため、北日本から西日本にかけても局地的に大雨となり、長野県では土石流による人的被害が発生したほか、新潟県と山形県では床上・床下浸水等の住家被害が発生した。

旬平均気温は、北日本と沖縄・奄美で高く、西日本で低かった。東日本は平年並だった。

旬降水量は、沖縄・奄美でかなり多く、東・西日本で多かった。北日本は平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本日本海側で多く、西日本と沖縄・奄美では少なかった。北・東日本太平洋側は平年並だった。

中 旬：台風第 8 号は 11 日に関東の東で温帯低気圧に変わり、三陸沖を北東進した。その後は日本の南で太平洋高気圧が次第に強まり、15 日頃からは、梅雨前線が日本海沿岸に停滞した。このため、東・西日本太平洋側や沖縄・奄美では高気圧に覆われて晴れる日が多く、東・西日本日本海側では梅雨前線の影響で曇りや雨となる日が多かった。また、19 日から 20 日にかけては、本州上空に強い寒気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となったため、東日本や西日本では局地的に猛烈な雨の降った所があった。奄美地方は 13 日頃、九州南部は 16 日頃、四国地方、中国地方は 20 日頃梅雨明けした（速報値）。一方、北日本では、東北地方は低気圧や梅雨前線の影響を受ける日があったが、北海道では晴れる日が多く、低気圧が沿海州付近に、高気圧がカムチャツカ半島付近に位置して、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温が高かった。

旬平均気温は、北日本は高く、東・西日本と沖縄・奄美は平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり少なく、東・西日本太平洋側で少なかった。北日本太平洋側と東・西日本日本海側、沖縄・奄美は平年並だった。

旬間日照時間は、北日本と沖縄・奄美で多く、東・西日本は平年並だった。

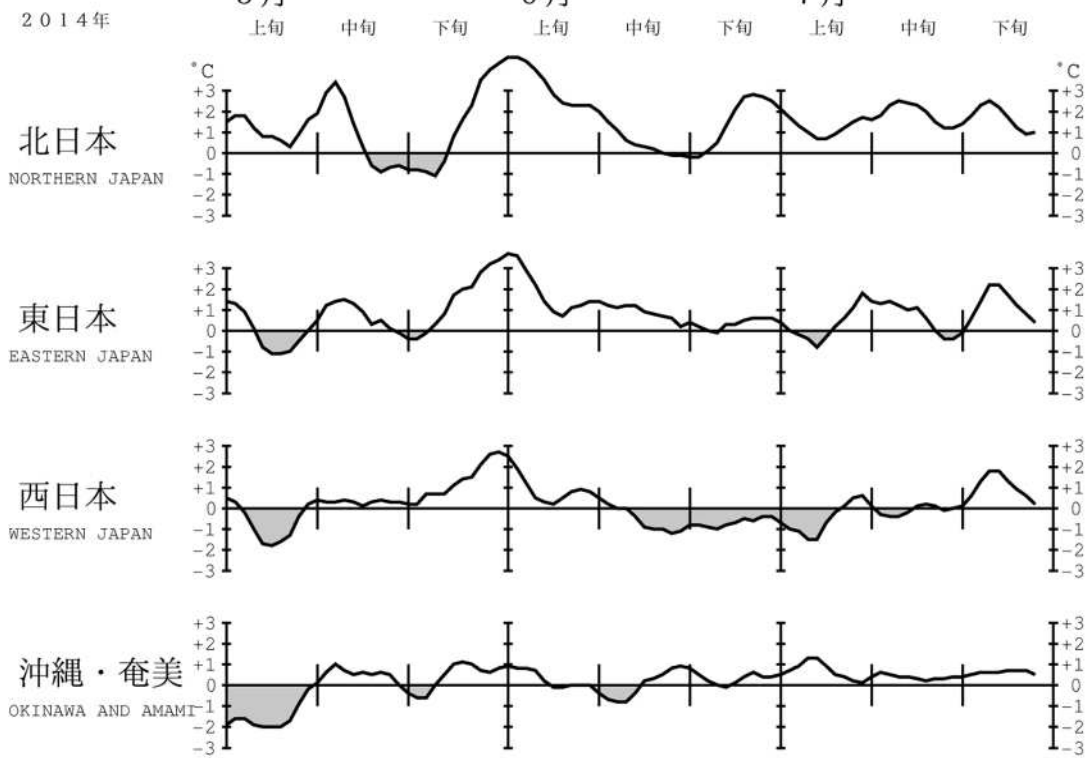
下 旬：旬のはじめは全国的に高気圧に覆われ、おおむね晴れたが、23 日から 24 日にかけては梅雨前線が北日本を南下し、北日本では曇りや雨となった所が多かった。25 日から 26 日にかけてはほぼ全国的に太平洋高気圧に覆われて気温が上がり、25 日は 187 地点、26 日は 231 地点（いずれも、アメダスを含む全国 927 地点中）で猛暑日となった。27 日には台風第 10 号から変わった温帯低気圧が北日本を通過し、北海道を中心に大雨となったが、前線の通過後は移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れとなった。九州北部地方、近畿地方、東海地方は 21 日頃、関東甲信地方は 22 日頃、北陸地方、東北地方は 28 日頃梅雨明けした（速報値）。沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、22 日から 23 日にかけては台風第 10 号が先島諸島に接近し、八重山地方では大雨となった。また、31 日には台風第 12 号が沖縄地方に接近し、沖縄・奄美や九州南部で大雨となった。

旬平均気温は、北日本と西日本、沖縄・奄美で高く、東日本で平年並だった。

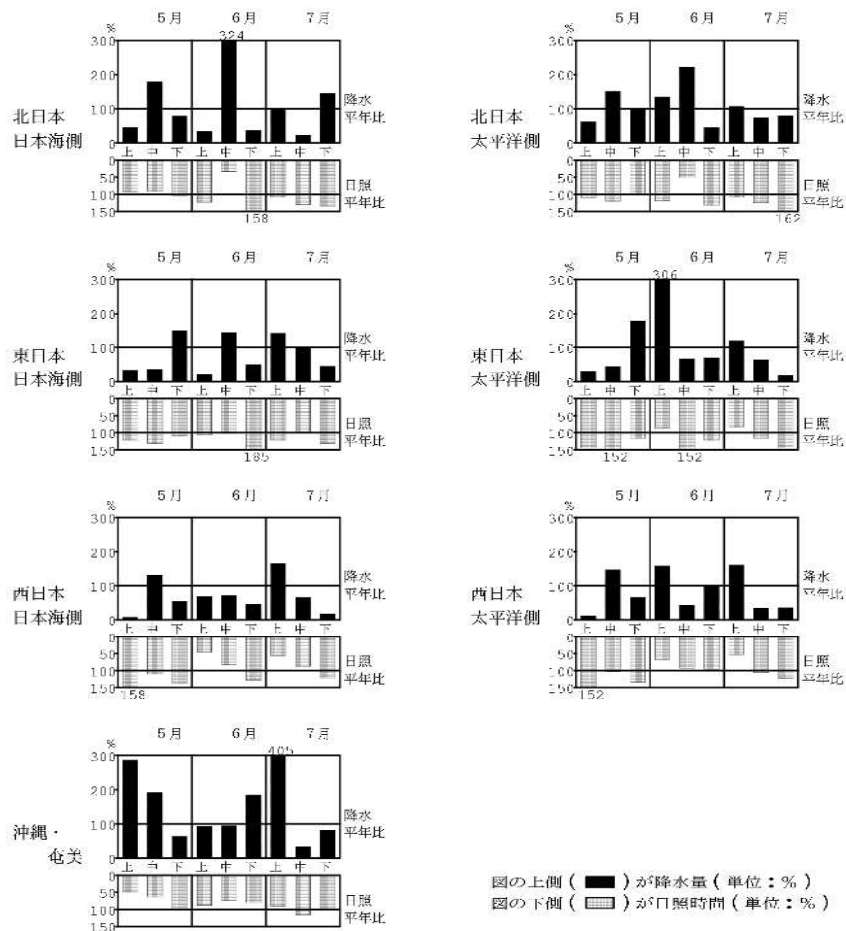
旬降水量は、北日本日本海側が多かった。一方、東日本太平洋側でかなり少なく、東日本日本海側と西日本では少なかった。北日本太平洋側と沖縄・奄美は平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本太平洋側でかなり多く、北・東日本日本海側と西日本が多かった。沖縄・奄美は平年並だった。

地域平均気温平年差の経過（5日移動平均）

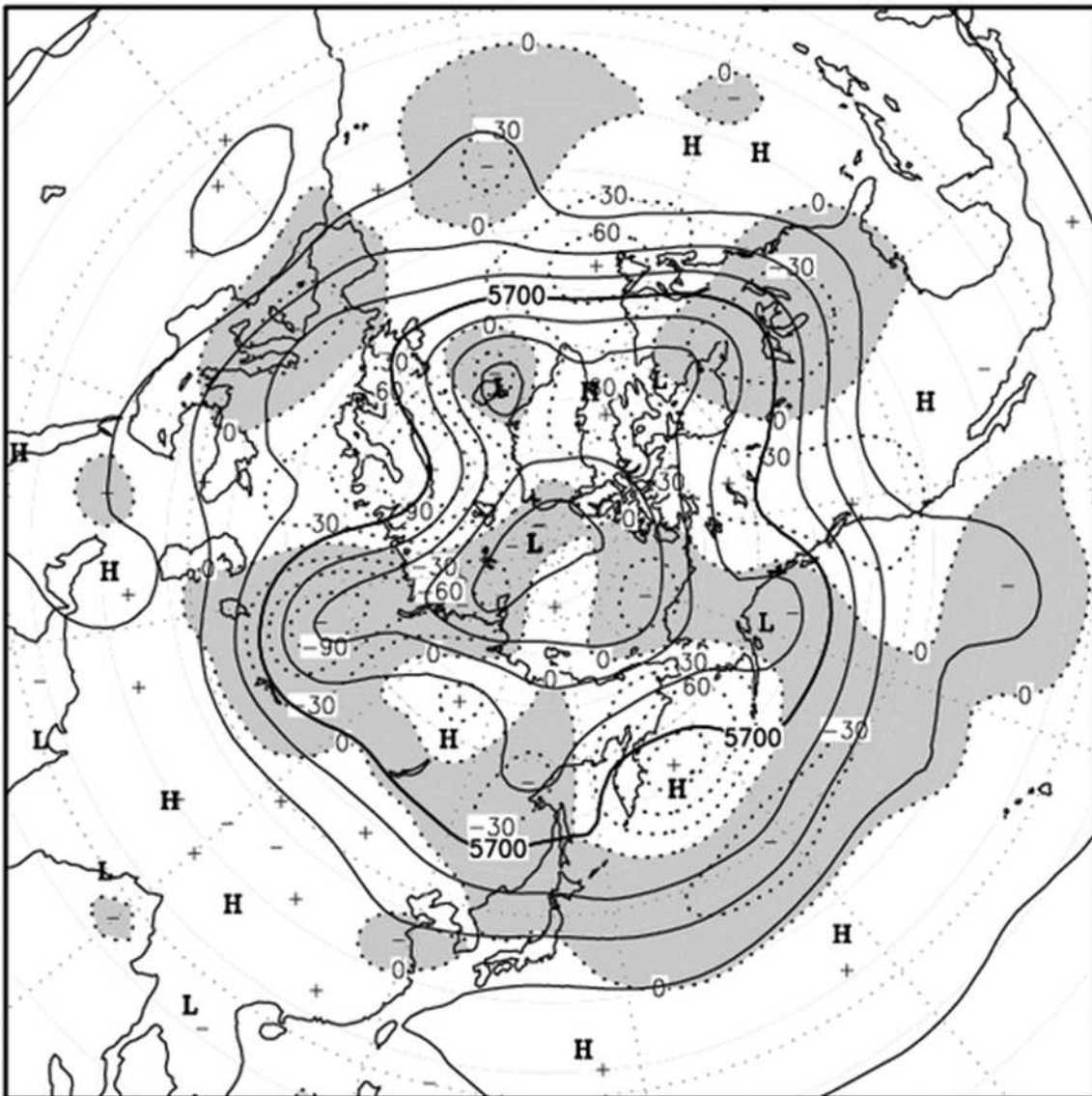


旬降水量および旬間日照時間の地域平均平年比の時系列



4 大気の流れの特徴

500hPa 天気図：日本付近の亜熱帯ジェット気流は、上旬は平年より南を、中旬以降はほぼ平年の位置を流れた。これに対応して、梅雨前線は、上旬は本州の南海上に停滞したが、日本の南での太平洋高気圧の強まりとともに、中旬には日本海沿岸、下旬には北日本まで北上した。一方、寒帯前線ジェット気流は、ユーラシア大陸上で大きく蛇行し、沿海州付近が気圧の谷となり、カムチャツカ半島付近には気圧の尾根が停滞した。これに伴って、沿海州付近で低気圧が発達することが多く、カムチャツカ半島付近には優勢な高気圧が停滞したため、北日本では暖かい南風が流れ込みやすく、月平均気温がかなり高くなった。



2014年7月の500hPa高度・偏差（等値線間隔 実況（実線）60m、偏差（破線）30m）
陰影域は負偏差

5 全国気候表 2014年7月

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級	
	()	()		(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	22.5	(+2.0)	+*	76.5	(94)	8	214.3	(130) +
稚内	19.2	(+2.4)	+*	44.0	(49)	-	162.7	(111)
北見枝幸	18.0	(+1.9)	+*	119.5	(108)	+	145.8	(114) +
旭川	21.9	(+1.7)	+	203.5	(187)	+*	216.7	(134) +
留萌	20.7	(+1.5)	+*	138.0	(142)	+	228.1	(135) +
羽幌	20.9	(+1.7)	+*	122.5	(108)		196.1	(114) +
岩見沢	21.6	(+1.9)	+*	76.5	(75)		234.3	(152) +*
倶知安	20.6	(+1.4)	+	39.0	(41)	-*	184.7	(126) +
小樽	21.5	(+1.7)	+*	102.5	(129)	+	198.1	(121) +
寿都	20.8	(+1.9)	+*	32.5	(37)	-	173.1	(111)
網走	18.6	(+1.5)	+	68.5	(78)		229.6	(136) +
紋別	18.4	(+1.8)	+	141.0	(141)	+	202.1	(138) +
雄武	18.0	(+2.0)	+*	116.5	(108)		164.3	(122) +
釧路	17.6	(+2.3)	+*	153.5	(120)	+	135.7	(126) +
根室	15.4	(+1.2)	+	195.0	(160)	+	136.2	(121) +
帯広	20.2	(+1.9)	+*	96.5	(91)		146.4	(124) +
広尾	17.9	(+2.0)	+*	161.0	(93)		125.5	(120) +
室蘭	19.9	(+2.0)	+*	40.0	(24)	-*	189.0	(148) +*
苫小牧	19.3	(+1.7)	+*	72.0	(43)	-*	148.7	(151) +*
浦河	18.7	(+1.5)	+	152.0	(104)		188.3	(172) +*
函館	21.8	(+2.1)	+*	53.5	(41)	-	194.3	(143) +
江差	22.0	(+1.9)	+*	78.5	(60)	-	185.8	(131) +
青森	23.2	(+2.1)	+*	107.0	(91)		204.4	(128) +
深浦	22.4	(+1.1)	+	215.0	(143)	+	197.3	(126) +
むつ	21.7	(+2.2)	+*	31.5	(21)	-*	186.7	(141) +
八戸	22.0	(+1.9)	+	99.0	(73)	-	189.7	(128) +
秋田	24.4	(+1.5)	+	126.0	(67)	-	198.3	(132) +
盛岡	23.5	(+1.7)	+*	184.5	(99)		176.8	(138) +*
大船渡	22.5	(+1.5)	+	190.0	(93)		176.1	(133) +
宮古	21.0	(+1.2)	+	166.5	(105)	+	184.4	(138) +
仙台	23.7	(+1.5)	+	123.0	(69)		159.2	(133) +
石巻	22.6	(+1.2)	+	98.0	(66)	-	169.7	(123) +
山形	24.1	(+0.8)		168.0	(107)		165.0	(115)
新庄	23.3	(+0.9)		114.5	(58)	-	154.5	(115) +
酒田	24.4	(+1.1)	+	95.0	(45)	-*	202.2	(123) +
福島	24.9	(+1.3)	+	196.0	(122)	+	150.0	(121) +
若松	24.2	(+0.7)		225.5	(128)	+	176.8	(111)
白河	23.1	(+0.9)	+	240.5	(111)	+	149.1	(122) +
小名浜	22.9	(+0.9)	+	182.5	(121)	+	182.5	(123) +
水戸	24.5	(+1.0)	+	140.5	(105)		196.0	(139) +
館野(つくば)	25.0	(+1.1)	+	97.0	(76)		188.5	(135) +
宇都宮	25.1	(+0.9)	+	194.5	(95)		136.0	(119)
日光	18.0	(+0.3)		221.0	(80)		121.4	(112)

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級			
	()	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)	(%)	
前橋	26.1	(+1.0)	+	147.5	(75)	-	12	179.7	(129)	+
熊谷	26.3	(+1.0)	+	128.0	(79)		15	188.5	(138)	+
秩父	24.7	(+0.7)	+	115.5	(69)	-	13	140.1	(111)	
東京	26.8	(+1.0)	+	105.5	(69)	-	13	175.6	(122)	+
大島	24.7	(+0.6)	+	92.0	(37)	-	9	181.4	(127)	+
三宅島	25.2]	()		182.5	(88)		13	184.3)	(104)	
	(統計日数:23)									
八丈島	25.0	(+0.1)		145.0	(65)		11	119.1	(101)	
父島	28.1	(+0.6)	+	21.0	(26)	-	6	226.8	(91)	-
千葉	26.1	(+1.1)	+	90.5	(74)		7	189.7	(124)	+
銚子	24.0	(+1.1)	+	77.5	(65)		11	214.9	(130)	+
館山	25.2	(+0.4)		49.0	(28)	-	6	203.5	(119)	
勝浦	24.4	(+0.9)	+	52.0	(32)	-	7	191.1	(123)	+
横浜	25.9	(+0.9)	+	68.5	(41)	-	12	197.5	(121)	
長野	24.6	(+0.8)	+	68.5	(51)	-	12	191.7	(114)	+
松本	24.3	(+0.7)	+	150.5	(109)		16	195.8	(114)	+
諏訪	23.2	(+0.5)	+	318.0	(166)	+	16	190.5	(115)	+
軽井沢	20.2	(+0.7)	+	184.5	(97)		15	184.0	(134)	+
飯田	24.4	(+0.5)	+	185.5	(86)		14	187.7	(111)	
甲府	26.4	(+0.9)	+	74.0	(56)	-	8	198.1	(121)	+
河口湖	22.0	(+0.7)	+	63.5	(39)	-*	9	161.4	(113)	
静岡	25.9	(+0.2)		160.0	(58)	-	10	193.9	(126)	+
浜松	26.5	(+0.8)	+	124.5	(66)	-	10	230.2	(130)	+
御前崎	24.7	(-0.1)		169.0	(80)		10	215.3	(116)	+
三島	26.1	(+0.5)	+	87.0	(41)	-	8	178.5	(124)	+
石廊崎	24.2	(0.0)		128.5	(69)	-	10	208.2	(123)	+
網代	25.3	(+0.5)		88.0	(37)	-	9	198.6	(131)	+
名古屋	27.4	(+1.0)	+	106.0	(52)	-	11	194.9	(119)	+
伊良湖	26.3	(+0.7)	+	84.5	(58)	-	8	216.2	(112)	+
岐阜	27.3	(+0.8)	+	122.0	(47)	-	9	186.9	(112)	
高山	23.6	(+0.6)	+	178.0	(77)		16	157.0	(107)	
津	27.1	(+0.8)	+	153.5	(85)		12	190.7	(109)	
上野	26.2	(+0.9)	+	131.0	(69)	-	11	185.0	(121)	+
尾鷲	25.5	(+0.1)		340.5	(86)		12	175.0	(112)	
四日市	25.8	(+0.7)	+	180.0	(85)		13	164.8	(104)	
新潟	24.9	(+0.4)		314.5	(164)	+	16	195.0	(115)	
相川	24.3	(+0.7)	+	262.5	(152)	+	13	184.5	(112)	
高田	24.9	(+0.3)		253.0	(120)	+	18	177.9	(116)	+
富山	25.8	(+0.9)	+	183.0	(76)		16	184.3	(125)	+
伏木	25.5	(+0.9)	+	115.0	(49)	-	15	194.1	(127)	+

地点名	平均气温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 日照時間(平年比) 階級		
	()	()	()	(mm)	(%)	(%)	1mm	(h)	(%)
金 沢 輪 島	26.1	(+0.8)	+	116.5	(50)	-	15	198.9	(125) +
	24.7	(+0.8)	+	189.0	(94)		13	179.2	(115)
福 井 敦 賀	26.4	(+0.8)	+	220.5	(94)		13	187.3	(125) +
	26.4	(+0.6)	+	220.0	(112)		13	192.7	(132) +
彦 根	26.4	(+0.8)	+	102.5	(47)	-	13	201.1	(120) +
京 都 舞 鶴	27.6	(+0.8)	+	98.0	(44)	-	10	144.5	(102)
	25.9	(+0.4)		133.5	(74)		13	173.9	(118) +
大 阪	27.8	(+0.4)		79.0	(50)	-	8	214.5	(118) +
神 戸 豊 岡 姫 路 洲 本	27.3	(+0.5)	+	69.5	(46)	-	8	203.8	(117) +
	26.0	(+0.5)		103.5	(57)	-	11	169.9	(115) +
	26.5	(+0.5)	+	96.5	(58)	-	8	174.5	(101)
	25.7	(+0.4)		93.0	(67)	-	9	202.0	(101)
奈 良	26.4	(+0.6)	+	134.0	(81)		12	182.2	(112) +
和 歌 山 潮 岬	27.4	(+0.4)		104.0	(72)		7	214.9	(104)
	25.6	(+0.1)		176.5	(61)		8	203.4	(108)
岡 山 津 山	27.5	(+0.3)		149.5	(93)		8	177.4	(103)
	25.3	(+0.3)		203.5	(82)		12	143.7	(98)
広 島 呉 福 山	26.9	(-0.2)		283.0	(109)		11	169.6	(94)
	26.1	(-0.1)		246.5	(108)		9	171.0	(93)
	26.3	(+0.1)		172.5	(98)		11	192.3	(97)
松 江 西 郷 浜 田	25.9	(+0.6)	+	155.5	(62)		11	189.2	(113)
	24.8	(+0.6)	+	158.0	(72)		10	164.2	(102)
	25.4	(+0.2)		209.0	(76)		11	198.1	(112) +
鳥 取 米 子 境	26.3	(+0.6)		118.0	(59)	-	9	194.2	(119) +
	26.4	(+0.8)	+	109.5	(46)	-	9	184.7	(107)
	26.0	(+0.5)		125.0	(54)	-	11	182.7	(104)
德 島	26.9	(+0.3)		111.5	(75)	-	7	196.4	(101)
高 松 多 度 津	27.6	(+0.6)	+	80.0	(56)	-	8	186.9	(96)
	26.8	(+0.3)		122.0	(85)		9	205.1	(100)
松 山 宇 和 島	26.7	(-0.2)		178.0	(93)		10	166.5	(86) -
	26.6	(+0.1)		171.5	(72)		11	195.5	(97)
高 知 宿 毛 清 水 室 戸 岬	26.9	(+0.2)		195.0	(59)	-	11	188.5	(107)
	26.1	(-0.1)		204.5	(82)		7	206.0	(103)
	26.2	(-0.2)		222.5	(105)		9	206.4	(100)
	24.9	(+0.1)		250.0	(98)		8	188.7	(101)
山 口 下 関 萩	26.1	(-0.1)		364.5	(113)		11	150.9	(94)
	25.9	(-0.4)	-	407.5	(142)	+	13	153.5	(88)
	25.9	(+0.2)		308.5	(116)		10	160.3	(97)

記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にして使用されたい。
なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

6 順位更新表 2014年7月

順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温	平年差	これまでの最高 (西暦年)	開始年	平年値
2	与那国島	29.6 =	+0.8	29.7 (2007)	1957	28.8
	西表島	29.5 =	+0.6	29.7 (2007)	1954	28.9
3	広尾	17.9 =	+2.0	19.0 (1978)	1958	15.9
	久米島	29.6 =	+0.8	29.7 (2007)	1958	28.8

月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	那覇	494.0	349	512.9 (1961)	1890	141.4
3	名護	531.5	351	624.5 (1972)	1967	151.3

月降水量少ない方からの順位更新

3位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
2	岩見沢	234.3	152	243.1 (1955)	1947	154.4
	浦河	188.3	172	212.3 (1955)	1927	109.5

月間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

(注) 値の横に] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。
平年値とは1981~2010年の30年間の値を平均したものである。